

京都府における再生可能エネルギーの導入可能性(既存データによる仮試算)

	現状	賦存量	ポテンシャル
太陽光発電	約7.2万kW	1,922万kW	163~688万kW
	住宅用 5.2万kW (13,800戸×3.8kW)	住宅用 戸建 257万kW ※ 64.2万戸×4kW 共同 1,329万kW ※ 44.3万棟×30kW	戸建 32~86万kW ※MIN 全戸の1/6に3kWを設置 MAX 全戸の1/3に4kWを設置
	公共用 2万kW (NEDO補助による公 施設設置分)	非住宅用 公共系 154万kW ※ 771万㎡×0.2kW 産業系 182万kW ※ 910万㎡×0.2kW	共同 74~442万kW ※MIN 全戸の1/6に10kWを設置 MAX 全戸の1/3に30kWを設置 公共用 23~54万kW ※MIN 屋根150㎡以上に設置 MAX 屋根10㎡以上に設置 敷地内設置 産業系 18~37万kW ※MIN 屋根150㎡以上に設置 MAX 屋根10㎡以上に設置 敷地内設置
			低・未 利用地 2~35万kW ※MIN 管理施設屋根150㎡以上に設置 MAX 施設壁面の50%に設置、河川敷等未利用地に設置 (河川、道路、港等)
			耕作放 棄地 15~33万kW ※MIN 15000㎡以上に設置 MAX 全ての耕作放棄地に設置
			(環境省ポテンシャル調査H22)
風力発電	0.45万kW	1,403万kW	30~272万kW
	太鼓山施設	陸上(風速別) 5.5m/秒~6.5m/秒 781万kW 6.5m/秒~7.5m/秒 431万kW 7.5m/秒~8.5m/秒 181万kW 8.5m/秒~ 11万kW	陸上 30~272万kW ※MIN FIT(15円/kWで15年間) MAX FIT(20円/kWで15年間)+設備費50%減、土木工事費20%減
		参考 洋上風力: 関西電力圏 5.5m/秒~6.5m/秒 1616万kW 6.5m/秒~7.5m/秒 856万kW 7.5m/秒~8.5m/秒 70万kW 8.5m/秒~ 0万kW	参考 洋上風力: 関西電力圏 0~1万kW ※MIN FIT(15円/kWで15年間) MAX FIT(20円/kWで15年間)+設備費50%減、土木工事費20%減 環境省ポテンシャル調査H22
		(環境省ポテンシャル調査H22)	

	現状	賦存量	ポテンシャル
中小水力	0.58万kW	6.3万kW	0～1.8万kW
		河川 6.3万kW 農業用水路 0.0万kW (環境省ポテンシャル調査H22)	河川 0～1.8万kW ※MIN FIT (15円/kWで15年間) MAX FIT (20円/kWで15年間)設備費50%減、土木工事費20%減 (環境省ポテンシャル調査H22)
バイオマス	0.2万kW	2.8億kWh	0.6億kWh
		<木質> 間伐材 67,364t/年 竹 29,105t/年 藁 73,522t/年 林地残材 9,731t/年 籾殻 9,038t/年 18.8万t/年 ※18.8万t×18GJ÷3.6MJ×0.3=2.8億kWh NEDOバイオマス賦存量・利用量推計	間伐材 1,626t/年 竹 25,770t/年 藁 11,028t/年 林地残材 219t/年 籾殻 1,356t/年 4万t/年 ※4万t×18GJ÷3.6MJ×0.3=0.6億kWh ※ポテンシャルの想定 ・間伐材、林地残材：残材搬出に係わる経済性を考慮し、林地残材の集材距離を林道から山側斜面25m、谷側斜面25m、合計50mと仮定し、この範囲から集材できる林地残材量 ・竹の既存利用：竹材、タケノコに利用されているものを賦存量から除いた量 ・藁、籾殻：賦存量のうち堆肥、飼料、畜舎敷料、燃料等、農地へのすき込み等に利用されているものを除く未利用分 NEDOバイオマス賦存量・利用量推計
地熱	0万kW	0万kW	0万kW
波力	0万kW	未だ実用化されていない。 NEOD再生可能エネルギー技術レポート	環境省ポテンシャル調査H22